

伝言板 No.1

発行 H15.10.1
NPO法人
北海道みなとの文化振興機構

「みなとパネル展」の会場風景



「みなとパネル展」テープカットの様

「NPO法人北海道みなとの文化振興機構」について

平成15年4月7日北海道知事の認承を受けた「NPO法人北海道みなとの文化振興機構」は、地域社会の中で、港をつくる側と港を利用する人たちの想いを念頭におき、海、港、暮らしという相対的な関係から港の役割というものについて自由に意見を交わすことのできる環境づくりを進めていくという考えのもとで発足しました。そして、地域の人達と同じ目線で学び、知恵を出し合い、港と暮らしの文化というものを意識しながら、将来の新しい社会システムにふさわしい、夢のある豊かな社会づくり実現への道筋を探っていくこととしております。

このような想いを地域社会の中で共有していくため ① 社会教育の推進を図る活動 ② まちづくりの推進を図る活動 ③ 文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 ④ 環境の保全を図る活動 ⑤ 国際協力の活動 などを念頭におきながら、地域の内外から精度の高い情報と幅広い意見を集め、地域の協力を得ながら必要な事業を着実に進めていく考えでおります。

なお、平成16年度の事業計画策定に当たりましては、今後、来年1月の総会に向け、事務局で素案づくりを進めていく予定でありますが、会員の皆様からも幅広いご意見などをいただければ幸いに存じます。

NPO活動

海、港、暮らしをみんなで考える「みなとパネル展」は、「海の月間」記念事業及び「苫小牧港開港40周年」記念事業と一緒に開催した「ザ・シンポジウムみなとin苫小牧」の協賛事業として、7月19日（土）から27日（日）までの9日間、苫小牧市の「サンプラザ」6階で開催しました。

この間の入場者は3,360人に達し、会場は、終日親子連れを中心にした人達で賑わいました。

お 礼

当NPO法人発足後初めての取り組みとなります「みなとパネル展」の開催に当たりましては、会員皆様のご支援をいただき、更には、事業最盛期にも関わらず、「みなとパネル展」実行スタッフを大勢派遣していただきましたことに対しまして衷心から厚くお礼申し上げます。

おかげさまで、9日間の開催期間を通じ家族連れを中心とした来客者は、前年を大きく上回り、終始和やかな雰囲気の中、港と暮らしというものを身近に考える有意義な場になったのではないかと強く感じております。

これは、スタッフ1人ひとりの暖かい気配りと工夫によるところが大きく、そのご努力に深く感謝し、お礼申し上げます。

今後とも港と暮らしの関わり合いが地域の文化として浸透していくよう努めて参りますので、会員皆様のなご一層のご指導ご協力をお願いいたします。

平成15年度会員数のご紹介(9月末現在)

賛助会員	11団体
正 会 員	(団体) 66社 (個人) 185人

“NPO法人北海道みなとの文化振興機構”のロゴマークを会員の皆様から募集しております。

応募方法

形状・色合い	B5版に大きくカラーでお願いいたします。
応 募 期 限	平成15年10月31日といたします。
提 出 先	NPO法人北海道みなとの文化振興機構事務局まで郵送又は、メールでお願いいたします。 e-mail bandou@kanchi.or.jp

なお、ロゴマークとして採用された方には、記念の品を贈呈いたします。

NPO情報

道内の特定非営利活動促進法に基づくNPO法人の認証数は、平成15年8月31日現在の集計では454団体（全国12,780）です。

活動分野別の集計は次のとおりです。

- ・保険、医療、福祉関係 210 ・まちづくり 75 ・文化、芸術、スポーツ 50
- ・環境保全 44 ・社会教育 24 ・子供の健全育成 23 ・その他28